

日本医科大学・東京理科大学第11回合同シンポジウムを開催しました (2024年12月14日(土))

2024年12月14日(土)午後2時から、日本医科大学・東京理科大学第11回合同シンポジウムが、日本医科大学・千駄木キャンパスで開催されました。

当日は、講演4名、特別講演2名、研究配属学生による発表10名で、参加者47名となりました。

このシンポジウムは、本学と東京理科大学との連携協力に関する協定に基づき、研究における両校の実質的な連携を目指し、11回目の開催となりました。

当日は、東京理科大学の石川正俊学長と本学の弦間昭彦学長による開会の挨拶の後、第1セッションでは主題「次世代の医療へ、次の一手」に沿った4題の講演、第2セッションでは「両校の実質的な共同研究に資する日本医科大学大学院教授による特別講演」において本学大学院教授による2題の講演が行われ、第3セッションでは日本医科大学学生による研究配属における研究成果の発表が行われました。その後、東京理科大学宮崎智教授研究室に配属された小久保佳織さんが審査の結果、「日本医科大学・東京理科大学第11回合同シンポジウム 優秀研究賞」を受賞しました。最後に東京理科大学の樋上賀一研究担当理事、本学の桑名正隆大学院医学研究科長から閉会の挨拶があり、シンポジウムが閉会となりました。

第12回の開催に向けて、より一層の両校の研究協力の発展と相互の特別講演等の実施を目指して進めていきたいと思っております。



日本医科大学 弦間学長



東京理科大学 石川学長

プログラムは以下のとおりです。

■第1セッション「次世代の医療へ、次の一手」

座長：日本医科大学 桑名 正隆（大学院医学研究科長）

東京理科大学 草森 浩輔（薬学部生命創薬科学科 准教授）

1. 日本医科大学 高野 晴子（先端医学研究所 病態解析学 教授）
演題：血管内皮細胞による肺胞形成メカニズムの解明 ～肺胞の再生をめざして～
2. 東京理科大学 元祐 昌廣（工学部機械工学科 教授）
演題：未来医療を支える流体テクノロジー技術開発
3. 日本医科大学 佐藤 卓（代謝・栄養学 大学院教授）
演題：患者由来がんオルガノイドライブラリーを利用した治療抵抗性がんの発生機構解明
4. 東京理科大学 上林 敦（薬学部生命創薬科学科 准教授）
演題：数理モデルを用いた医薬品の体内挙動の予測

■第2セッション「両校の実質的な共同研に資する日本医科大学大学院教授による特別講演」

座長：日本医科大学 清家 正博（研究部長）

東京理科大学 武村 政春（教養教育研究院神楽坂キャンパス教養部 教授）

1. 日本医科大学 酒井 真志人（分子遺伝医学 大学院教授）
演題：疾患を制御するマクロファージの機能的多様性
2. 日本医科大学 森田 林平（微生物学・免疫学 大学院教授）
演題：クラスリン依存性エンドサイトーシスによる
NLRP3 インフラマソームの活性制御の解明

■第3セッション 第3セッション<成果発表>

「日本医科大生による東京理科大学研究配属の成果発表」

座長：日本医科大学 酒井 真志人（研究配属実行委員会委員長）

東京理科大学 青木 伸（薬学部生命創薬科学科 教授）



日本医科大学 高野教授



東京理科大学 元祐教授



日本医科大学 佐藤大学院教授



東京理科大学 上林准教授



日本医科大学 酒井大学院教授



日本医科大学 森田大学院教授